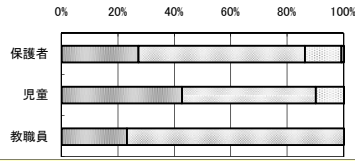


■4-そう思う □3-どちらかといえば、そう思う □2-どちらかといえば、そう思わない □1-そう思わない

学校教育目標

1 教育方針・目標の理解

学校は、教育方針や教育目標などを、子どもや保護者、地域にわかりやすく示していると思いますか。

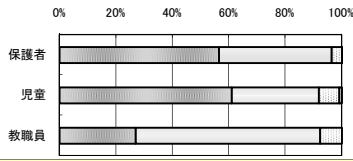


【学校から】

教育方針・目標の理解の項目で、児童の3・4を合わせた割合が約90%というのは、昨年とほぼ変わらない。しかし、昨年に比べて4の割合が13%も増加していることは高く評価できる。あいさつの行動目標化した指導や「だまって掃除」等、がんばりカードを活用した重点的指導の結果だと考える。意欲的な学校生活の項目で、1と答えた児童が存在することに対し、個別の指導と居心地のよい学校・学級づくりを進めていくことにする。

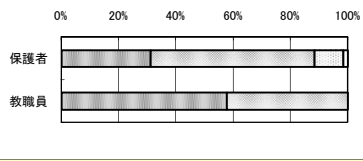
2 意欲的な学校生活

子どもは、楽しい学校生活が送れていると思いますか。



3 教師の連携協力

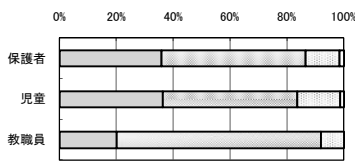
学校では、先生方が連携協力して教育活動に取り組んでいると思いますか。



教科指導

4 授業づくりの工夫

先生方は、わかる授業、楽しい授業づくりに努めていると思いますか。

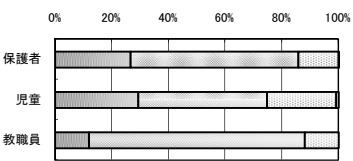


【学校から】

わかる楽しい授業づくりで教職員の4の評価が、昨年同様低いのが問題である。生徒指導、行事準備、部活動等に多忙で教材研究の時間が十分とれないことが課題であるので、校内研修の充実や夏季休業中の時間の活用を図ることとする。意欲的な学習態度の項目では、児童の3・4を合わせた割合が8%低くなっている。家庭学習の一層の工夫やT T追加による習熟度別学習の導入により、個に応じた指導の充実を図ることとする。

5 意欲的な学習態度

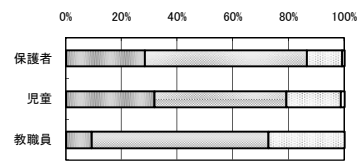
子どもは、意欲的に授業に取り組んでいると思いますか。



総合的な学習の時間

6 総合的な学習の時間の充実

子どもは、総合的な学習の時間に意欲的に取り組んでいると思いますか。



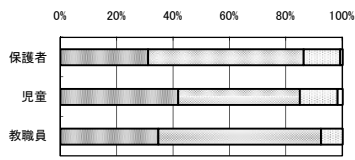
【学校から】

昨年と比べて、3・4を合わせた評価は、保護者、児童、教職員とも、ほとんど変わっていない。来年度、新教育課程の完全実施により、総合的な学習の時間は、年間70時間になるので、本校の特色を活かした学習内容による年間計画の見直しを行うこととする。

道徳教育 心の教育

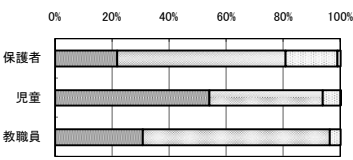
7 道徳、心の教育の充実

学校は、思いやりの心や感謝の心などを大切にす心の教育の充実を努めていると思いますか。



8 あいさつ、礼儀の励行

子どもは、あいさつがきちんとできていると思いますか。



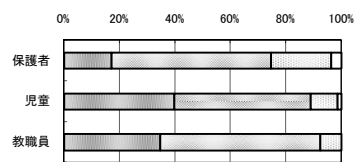
【学校から】

あいさつの項目の3・4を合わせた評価が児童94%、教職員96%で、しかも児童の4の割合が54%であることは高く評価できる。月の生活目標を大きく見直し、あいさつの目標を年4回、具体的な行動目標とした成果があがっている。また、職員が共通理解、共通指導した成果も大きい。さらに、児童会によるあいさつ運動の提案等、子どもたちの自主的な活動も行われるようになってきた。道徳による道徳的心情の育成に関しては、11月の心がやけ月間で、全校一斉に道徳の授業を保護者の方に公開するなど、取り組みを強化しているが、重点項目を絞った継続的な取り組みを行う必要がある。

人権教育

9 一人一人の生徒の尊重

学校は、一人一人の子どもを大切にす指導や対応ができていると思いますか。

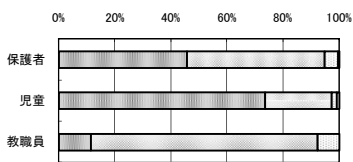


【学校から】

本年度より、学校独自のいじめ調査アンケート「なかよしアンケート」を1学期と3学期に新たに導入し、県教委アンケートとともに年3回実施した。その際、いじめの早期発見、早期対応を目指して取り組みを進めた。また、人権学習年間計画の見直しや、日常指導にも力を入れてきたが、保護者の「一人一人を大切にす指導」の4の評価が17%であることを重く受け止めている。日常の児童への言葉かけや課題があったときのきめ細かな対応について、職員で共通理解、共通実践を行うこととする。

10 友だちへの思いやり

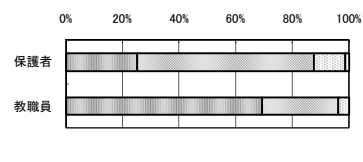
子どもは、友だちとなかよくしていると思いますか。



特別支援教育

11 学校の支援体制

学校は、支援を必要とする子どもの教育について、共通理解を図りながら取り組んでいると思いますか。



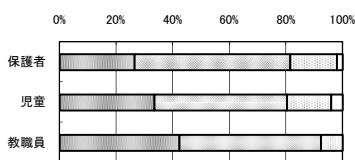
【学校から】

児童の特性を理解し、適切な指導・支援に努めてきた。SSWや発達支援センター等、専門機関との連携や保護者との教育相談等も実践して成果がでてきている。今後も校内研修の充実や保護者への啓発など地道に取り組んでいきたい。

生徒指導 教育相談

12 生徒理解

先生方は、子どものよさを見つけ、子どもを理解しようと努めていると思いますか。

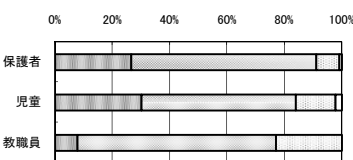


【学校から】

昨年度に比べて、3項目とも保護者の4の割合が5%程増加している。自尊感情を高める授業実践やいじめアンケートの年3回実施による取り組みの成果と考えられる。しかし、教員が子ども一人一人のよさを見つけているかという項目の保護者の4の評価が26%である。「認め ほめ 励まし 伸ばす」教育の実践を心がけた学校づくりを進めているが、子どものよさを保護者に伝える努力が足りないことを反省し、連絡帳や電話、学級だより等での保護者連携に努めることとする。

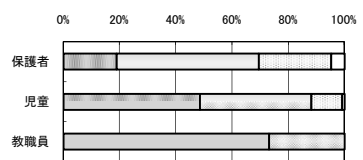
13 規範意識

子どもは、きまりやマナーを守っていると思いますか。



14 いじめや問題への対応

学校では、いじめや問題があったとき、すぐに話を聞いて対応していると思いますか。



健康教育 安全

15 安全と事故防止

学校は、子どもの安全と事故防止に努めていると思いますか。

対象者	0%	20%	40%	60%	80%	100%
保護者	0	0	0	0	0	100
教職員	0	0	0	0	0	100

16 体力向上

子どもは、すすんで外遊びやスポーツをしていると思いますか。

対象者	0%	20%	40%	60%	80%	100%
保護者	0	0	0	0	0	100
児童	0	0	0	0	0	100
教職員	0	0	0	0	0	100

【学校から】
 外遊びの項目で、4の割合が保護者49%、児童68%と非常に高い。恵まれた運動場での自由遊びと、体育部提案の体力づくり活動、部活動充実の成果と考える。安全・事故防止面では、教職員の4の評価が昨年度より17%上がり、54%と非常に高くなっている。避難訓練の見直しや交通安全指導の充実により、「自分の命は自分で守る」という子どもの安全意識を高めてきた成果と考える。

学校行事

17 学校行事への参加と工夫

学校では、運動会や学習発表会などの学校行事が工夫されていると思いますか。

対象者	0%	20%	40%	60%	80%	100%
保護者	0	0	0	0	0	100
児童	0	0	0	0	0	100

【学校から】
 来年度からの新学習指導要領完全実施に向け、学校行事全般の見直しを図っている。年度末には、保護者の方に説明を行う予定である。学校行事の実施にあたっては、実施曜日が片寄らないように配慮し、保護者の方が参加しやすいように努めることとする。

学校環境

18 環境の整理・美化

学校では、校舎内外（花壇や掲示物など）がきちんと整理されていると思いますか。

対象者	0%	20%	40%	60%	80%	100%
保護者	0	0	0	0	0	100
児童	0	0	0	0	0	100
教職員	0	0	0	0	0	100

19 施設・設備の安全管理

学校の施設・設備は、安全でよく整備・管理されていると思いますか。

対象者	0%	20%	40%	60%	80%	100%
保護者	0	0	0	0	0	100
児童	0	0	0	0	0	100
教職員	0	0	0	0	0	100

【学校から】
 学校環境に関しては、保護者、児童、教職員の4の評価が、ほぼ4割で非常に高い。1人1鉢や花壇の整備等の緑化活動や緑の時間の実践や清掃指導の効果と考えられる。施設・設備の安全管理では、運動場の不用物の撤去や月1回の安全点検のきめ細かな実施を行っている。今後も継続実践を行うこととする。

情報の公開・発信

20 学校の予定等がわかる情報発信

学校からの文書等で、学校の情報が十分発信されていると思いますか。

対象者	0%	20%	40%	60%	80%	100%
保護者	0	0	0	0	0	100
教職員	0	0	0	0	0	100

21 教育活動への参加

学校が公開している教育活動（行事、授業等）は、保護者や地域の方が参加しやすいと思いますか。

対象者	0%	20%	40%	60%	80%	100%
保護者	0	0	0	0	0	100
教職員	0	0	0	0	0	100

【学校から】
 情報発信に関しては、保護者の3・4を合わせた評価はほとんど変化していない。学校だより、学年だより、学級だよりで、学校・学級の様子の広報に努めるとともに、感染症予防のための保健だより等の発行も行ってきた。また、休業日変更やプール工事、緊急事態対応の説明通知文書等も随時発行し、説明に努めてきたので、今後も継続していくこととする。

家庭・地域との連携

22 家庭や地域との連携協力

学校は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。

対象者	0%	20%	40%	60%	80%	100%
保護者	0	0	0	0	0	100
教職員	0	0	0	0	0	100

【学校から】
 学校からの便りの発行や学級懇談会等で、学校と家庭が連携した教育ができるように努めている。今後、学級懇談会の参加人数の増加や内容充実のための努力が必要である。地域は様々な子どもたちのための行事開催等で協力していただいている。

来年度の具体的な取り組みについて

学校経営のキーワードとして「改善」を掲げて取り組んできた1年であった。この1年間で、教育活動の見直しや重点指導事項「あいさつ」「掃除」の取り組みを進めてきた。来年度は、さらに、本年度の改善の上で、次のような取り組みを継続実践していくこととする。

1. 学力の充実
 - (1) 日課を変更し、週1回、朝の学力充実タイムの拡充
 - (2) T T 加配による個に応じた習熟度別学習の導入
 - (3) 校内研修による研究授業の充実
2. 生徒指導重点指導目標の徹底
 - (1) 「立ち止まって おじぎをして」あいさつ指導の徹底
 - (2) 「だまって掃除」の児童委員会活動による推進
 - (3) 「自分の命は自分で守る」安全指導の徹底
3. 豊かな心の育成
 - (1) 自尊感情を高める人権学習の充実
 - (2) 1時間1時間を大切に道徳授業の実践
4. 健やかな身体の育成
 - (1) 年間を通したスポーツタイムの実践
 - (2) 部活動指針に基づいた部活動の推進

学校関係者評価

○ 設問が教職員じゃないと本当のところは評価できにくいものがある。また、「きまりやルール」にしても、教職員と保護者では見ているところが違うので、評価結果に大きな開きが出ているようだ。教職員の評価が低いのは、期待値や理想が高い結果かもしれないし、きまりの意味や必要性を十分に理解させきれていない指導法や減点法で見えてしまう教師の見方があるのかもしれない。もっと、厳密でより精度の高いものにするには、学校独自で文言を吟味して-0.評価項目づくりをするとうまい。

○ 挨拶は学校の中では十分できているようだが、地域の中では「良かったり、もう少しだったり」する。学校の取り組みと合わせて、家庭や地域でも保護者や地域の人々がお手本を見せたりして、挨拶の励行に努めていく必要がある。

○ 授業だけでなく、児童作品から子どもの状態を把握することができるので、授業参観時は、教室や廊下や特別教室等の作品展示の工夫を期待したい。授業参観時、授業に集中できていない児童が多々見られた。「わかる、楽しい」授業で、子どもが授業に熱中する授業づくりを期待したい。今年度、10月の授業参観は2コマあって、低・高学年でじっくり参観できたのは良かった。

○ 学校環境については、フェンスの生け垣の剪定や運動場の石ころの整備が必要だ。前年と比べて校庭にごみが少なくなった。掃除用具もよく片付いていたりして校風が良くなってきた。

○ この一年、子どもたちが安定していて、落ち着いていた。より良い学校運営ができていた。学校の教育課程改善の取り組みも評価できる。次年度の子どもたちの健やかな成長を期待したい。